



2019年6月24日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。米国で利下げ観測が高まったことで、米ドル安新興国通貨高の流れが進み、ブラジル・レアルも買われました。

ブラジル国内では引き続きモロ法務相をめぐるスキャンダルが注目されています。先週モロ法務相は上院にて疑惑の釈明を行いました。新たな疑惑が暴露されるなどいまだに騒動は収まる様子を見せていません。足元市場の反応は限定的ですが、引き続き動向を注視していきたいと思えます。

経済指標に関しては、ブラジル中央銀行から政策金利が発表されました。こちらは事前の予想通り6.5%で据え置かれましたが、インフレ率の見通しが大幅に引き下げられました。また、足元では2019年末の市場の政策金利予想が5.75%と年初から大きく引き下げられています。

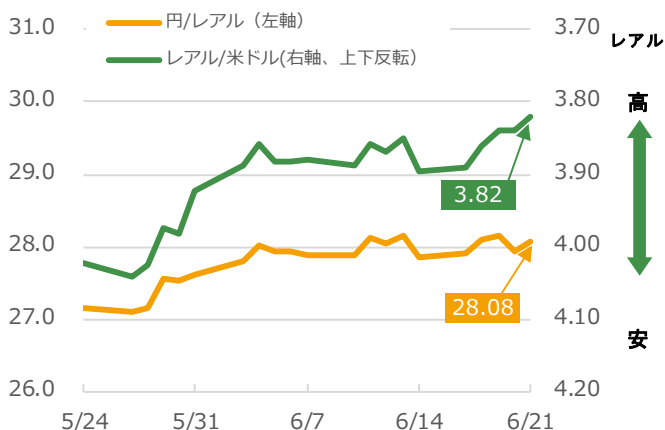
今週の見通し

今週は、各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

年金改革については楽観的な見通しが高まっていますが、足元では年金改革に対するデモが全国で行われています。年金改革が特に貧困層に対して大きな打撃になるとの見方から行われており、今後もデモが拡大する可能性があることから注意が必要と考えます。

ブラジル・レアル 為替推移

(2019年5月24日～2019年6月21日)
(円/レアル) (レアル/米ドル)

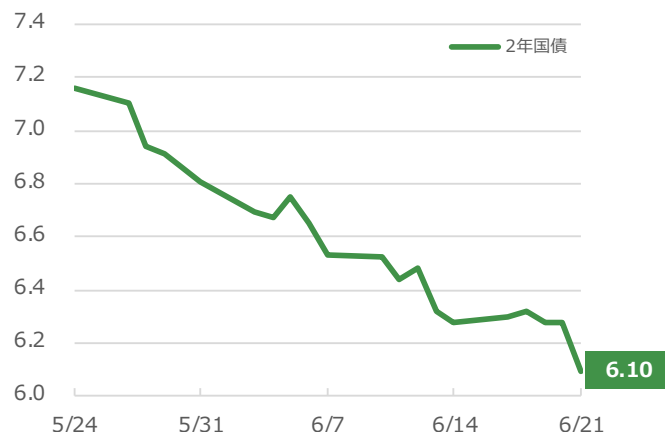


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移

(2019年5月24日～2019年6月21日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。